

手をつなぐ

2020
5月
[No.771]

特集

どう考える？ 意思決定支援

今月の問題 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて
ひびき 想田和弘(映画作家)



新型コロナウイルス感染症の 拡大防止に向けて

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会
会長 久保 厚子

全国の手をつなぐ育成会・親の会の皆さま、育成会活動を応援して下さる皆さま、日ごろからの知的障害者福祉の向上と育成会活動へのお力添えをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、皆さまご存じのとおり、日本国内においても新型コロナウイルス感染症が大きな影響を与えており、4月7日には「緊急事態宣言」が発令されました。全国手をつなぐ育成会連合会(以下「全育連」とします)としても、会員の皆さま一人ひとりができる感染拡大防止策を徹底することで、一日も早い終息を願っております。

何よりも、まずは手洗いや手指消毒、正しいマスクの着用など、一人ひとりができることを徹底しましょう。とはいえ、知的障害のある人へこうした感染拡大防止の取り組みを伝えるためには工夫が必要です。そこで、全育連ではイラストを使って分かりやすくやるべきことをまとめたリーフレットを作成しました。全国の正会員へお送りするとともに、全育連のホームページにも掲載していますので、どうぞご利用ください。

長期にわたる外出の制限や学校、事業所などの閉鎖などで、お困りのことはありませんでしょうか。逆に、自宅での生活を少しでも快適に過ごすための工夫やアイデアなどがありますでしょうか。育成会は全国にネットワークを持つ団体です。困っていることや不安なこと、うまくいっている事例などがあれば、ぜひ各地の育成会までお寄せください。全育連としても、そうした声を取りまとめで国などへ要望してまいります。

経験のない事態だけに影響が長期化することも見込まれますが、育成会としても一致団結して、知的障害のある人と家族の命と暮らしを守っていきましょう。



プリントアウトして
広くご利用ください
ルビつきです

<http://zen-iku.jp/info/3728.html>